



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

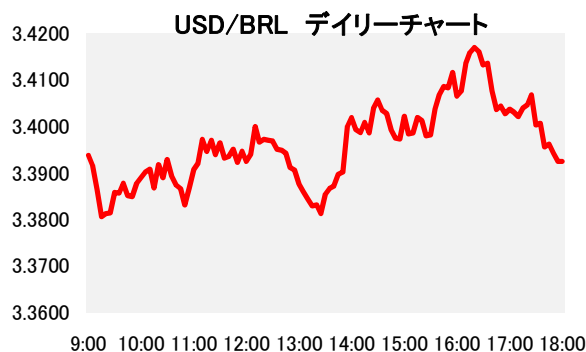
1. マーケット・レート

			12月1日	12月2日	12月5日	12月6日	12月7日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4640	3.4760	3.4230	3.4100	3.3920	-0.0180
	BRL/JPY	Spot	32.95	32.69	33.23	33.44	33.55	+0.11
	EUR/USD	Spot	1.0645	1.0659	1.0765	1.0717	1.0759	+0.0042
	USD/JPY	Spot	114.16	113.68	113.76	114.02	113.82	-0.20
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.986	13.014	12.855	12.844	12.819	-0.025
	Future	1Year(p.a.)	12.343	12.314	12.088	12.036	11.957	-0.080
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.413	2.454	2.462	2.406	2.430	+0.024
	USD	1Year(p.a.)	2.606	2.699	2.685	2.593	2.595	+0.002
株式	Bovespa指数		59507	60316	59832	61088	61414	326
CDS	CDS Brazil 5y		312.71	315.00	309.61	301.72	293.01	-8.71
商品	CRB指数		191.406	191.694	193.475	192.526	190.852	-1.67

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

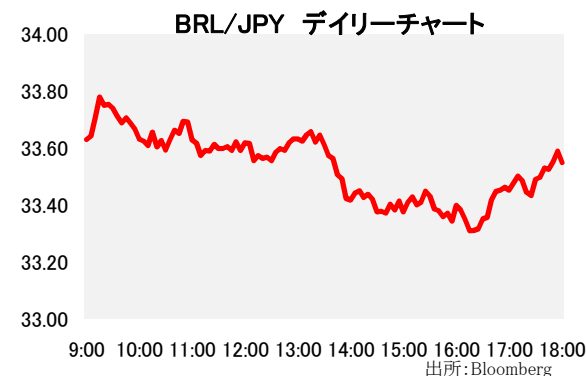
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	0.00%	0.05%	0.13%
FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	6.74%	6.77%	7.99%
商品価格指数(前月比)	--	6.22%	0.05%
商品価格指数(前年比)	--	-3.99%	-14.47%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-0.7%	-9.4%



3. 要人コメント

ゴールドファイン 伯中銀総裁	伯中銀の見通しが正しい場合、我々は利下げペースを加速するだろう。中銀はより低いインフレ率とより低い政策金利の為に働きかけなければならない。
-------------------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.3900で寄り付き、直後に日中高値3.3770を付けた。本日はカリエイリョス上院議長の職務停止の仮処分について、裁判所が正式に審議を開始した。同議長が職務停止となった場合、野党の現副議長が後任となるため、財政改革法案の国会審議が後退するとの懸念が強まっている。レアルは午後からはジリアンの展開となり、日中安値3.4190を示現。引けにかけて小反発し、結局3.3920でクローズした。
- 週末に開催されるOPEC加盟国と非加盟国の減産協議に対する警戒感や、米エネルギー情報局の週間統計で米石油受け渡し拠点の原油在庫が2009年1月以来の水準に増加したことを嫌気し、原油先物価格は続落。WTI先物は50ドルを割り込んだ。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。